

平野ヶ丘



多治見市立養正小学校
校報『平野ヶ丘』

令和4年度 学校報 第6号
令和4年8月31日(水)発行
「みなさまのおかげで、本年は
創立150周年を迎えます。」



校長室のひとりごと

『長い夏休みを終え、主役の再登場！』

←「みなさんは、大丈夫でしたか？」

校長 熊崎 健一

8月29日、夏休みを終えた子供たちが元気いっぱいに登校しました。横断歩道で登校の様子を見ていると「校長先生、お久しぶりです！」なんて声をかけてくれる子もいました。「学校の主役が戻ってきたなあ。」ということを実感しました。改修工事を終えてピカピカになった体育館の床に整列しての夏休み明け集会では、次のようなお話をしました。

『元気で安全に過ごせた夏休み』

この夏も小学生が交通事故や水難事故で命を落とすという悲しいニュースが報道されました。そのたびに「養正の子は大丈夫かな？」と心配しましたが、大きな事故やケガの連絡が無く、みんなが安全に過ごせたことが何より嬉しいです。今日は、元気な姿で登校してくれて本当にありがとう。ただ、夏休み中にコロナに感染してしまった仲間は40名以上（急増）いて、これからもしっかりと感染防止に取り組んでいかなければなりませんね。

『心の宝物をエネルギーに！』

夏休みに取り組んだ研究や工作、学習などは目に見える宝物であり、一人ひとり違っています。でも、「自分の力でできた！」「工夫して取り組んだ！」「最後までやり抜いた！」という“心の宝物”は、みんな同じようにもっています。言い換えれば“夏休みの頑張りで付けた自信”です。この自信をエネルギーにして、運動会・社会見学・150周年行事などの行事がたくさんある今日からの学校生活をみんなで思い切り楽しんでいきましょう。

『悩みや困りごとはありませんか？』

9月は、小中高生が様々な悩みから学校へ行けなくなったり自分の体を傷つけてしまったりすることが多くなるといわれています。小さな悩みやちょっとした困りごとなら自分で解決しようとすることも心の成長につながります。でも、いくら悩んでも自分一人では解決できないような悩みがある時は、悩みが大きくなる前に身近な大人（親さんや先生）に相談しましょう。相談するだけで気持ちが楽になります。そして、大人は悩みが解決するまでちゃんと一緒に考えてくれるし見届けをしてくれます。一人で悩み続ける必要はありません。

いつもより少し長いお話になってしまいましたが、1年生から6年生まで真剣に聞いてくれました。素直な心で受け止めてくれる養正の子たちであることに感心しつつ、これからの前期の締めくくり、そして充実の後期へとつなげていきたいと考えています。

お家の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

コロナ禍に対応した運動会の実施に向けて

本年度の運動会は、10月15日(土)を予定しています。長時間とならないよう開始時刻を若干早め、お弁当無しで11時30分には下校します。現在、学校は、感染防止対策を十分講じながら、できる限り通常の教育活動を実施する方向で進めていますので、ご家族の参観も通常通り『制限なし』と考えています。ただし、今後の感染状況等によっては変更をお願いしなければならない場合も想定されますので、あらかじめご了承ください。

後日、改めてご案内の文書を配布します。また、文書配布後の変更につきましては、絆メール等も活用しながら迅速にお知らせいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。